

とよなか

教え子を再び戦場に送るな！ 2013年5月8日発行 NO502.

子ども達の豊か
な成長・発達の
ために皆で力を
合わせてましょ
う！

安倍内閣のすすむ道は——わたしたちをどこへ連れていく
4月28日 土曜日
「主権回復」どころか「屈辱と従属」の日

「主権回復」どころか「屈辱と従属」の日

4月28日、安倍内閣は「主権回復・国際社会復帰を記念する」という式典を開きました。この日は、一九五二年、サンフランシスコ講和条約（以下 サ条約）と日米安全保障条約（旧）が発効した日です。安倍内閣は「主権が回復した日」と位置づけましたが、4月28日のこのサ条約によって、沖縄や小笠原、奄美などは米軍の施政権下におかれることになったのです。

アメリカへの従属強める

サ条約調印後の安保条約署名には吉田茂首相一人が正式会議場でない一室でおこなわれました。日本国民に内容が知らされ

ないまま調印されました。条約に基づく協定では
①米軍基地の管理
②米兵や家族が日本国内で罪を犯した場合、第一次裁判権は米側がもつ——という特権までを保障しています。
中曽根康弘（元首相）ですら当時「この協定は日本を植民地化するものですな」（『日本外交文

書』）と感想をもらしています。
二〇〇四年に沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落した時にも大学内に日本人が立ち入ることができませんでした。今日の日米地位協定もこうした不平等な米軍への特権が多く残っているのです。



沖縄を米軍に売り渡す

沖縄では米軍基地拡張をすすめるため米軍が銃剣を住民に向け、ブルドーザーで土地から無理やり住民を追い出しました。今も続く米兵による犯罪ですが、女性を銃殺しても無罪、6歳の少女が暴行被害されても無罪などアメリカによる無法相次いだ沖縄では、「屈辱の日」として位置づけられています。式典には沖縄県

○4月24日、（全国学力・学習状況調査）がおこなわれました。

07年度に始まった学力テスト。民主党政権で抽出方式になりましたが、安倍政権では来年度以降も全員対象でやるとしています。

全教の昨年実施の調査では「学テ対策」として、過去問題や傾向問題をドリルとしてやらせるなどの事例が全国各地で見られます。某教育委員会では「できそうな問題から先に」「時間配分を考

全国学テ

次は体力調査
小5・中2全員対象に

えて「など受験テクニクが書かれ点数さえとればよい」という姿勢です。○全国体力調査も全国のすべての小5・中2で7月末までに実施としています。

市教委（保健体育チーム）

は、実施に際し、学校現場まかせにしない、必要な応援を考えたいと言っています。

○全国学テは点数競争に必

死になり、学ぶ楽しさを奪っていないでしょうか。体力調査も橋下知事（4年前・当時）が勉強と体育の両方悪かった結果に「両方悪かったら何が残るのか」と怒りを爆発。調査結果にのみ目を向けることは、学テと同様、スポーツの楽しさを奪うことになりかねないので。週3時間の学校体育だけの問題にせず、子どもだけの体の問題を分析して必要な施策を行うことが必要です。

「つわりがきつい」
「通勤が大変！」

妊娠がわかった

教職員の皆さんへ

この間、一部の母性保護

や子育て支援の権利が、府
当局によって改悪されまし
たが、母性保護に関わる次
のような権利が長年の運動
によって認められています。

①生理休暇

1回につき、2日以内
の特別休暇

時間単位、半日単位でも
とれるが取得日数は1日
とカウント

②産前産後休暇―16週間

産後8週間
通じて16週間

③妊娠障害（つわりなど） 休暇

妊娠に伴うさまざまな
症状（つわりも）につい
て、産休とは別に14日以
内
断続的取得も可能。

④多胎妊娠の産前休暇

産前16週とれる。

⑤通勤緩和措置

妊娠中の女子職員が通
勤する場合の特別休暇
徒歩通勤も含み、通勤
手段にかかわらず、
1日60分以内の特別休暇
母子健康手帳を提示

⑥通院休暇

妊娠23週まで―4週間
に1回
24週―満35週―2週間
に1回
36週―出産―1週間に
1回
1回につき1日以内
特別休暇願と母子健康
手帳の提示。

⑦体育実技・負担軽減措 置

妊娠中の母体保護のた
め
妊娠判明時から産休に
入るまで

⑧妊婦の勤務中の職免措 置

医師、助産婦など保健
指導や健康診断に基づい
て捕食や休息の必要があ
ることが指導された場合、
必要な時間職免扱いとす
る

⑨流産・流死産

11週までの流産は
特別休暇
12週以上の流死産は
16週の特別休暇

⑩妻の出産にかかる夫の 特別休暇

2日間
出産日―出産後2週間
以内。



新任歓迎！ 今年も学びのスタート POWER UP講座も始まる

4月13日、豊能ブロック
の新歓をおこないました。
先輩教師からのメッセージ
や授業のアイデア、掃
除の仕方の紹介のあと、
表現舎乱坊さんの「教室に
笑いを！ 文化を」題し
たお話と落語で、大いに
笑いました。

第1回教育講座―体育

4月27日に今年のPO
WER UPがスタート。
講師に安武先生（吹田）
をお迎えして、箕輪小学
校を会場に行いました。
体幹を意識できる、日常
とちがう動きを体験する
ことで、子どもたちに指
導する時に、何を目標に、
どう言葉かけをしていく
かを学びました。

参加者の感想の一部
○「みんないっしょに笑えるク
ラスでありたいいつも思うの
ですが、まずは笑う練習！と、
じゃれ大会から始めようかな
と思います。」
○「笑い…このあるクラス 色々
なアプローチで子どもたちと一

